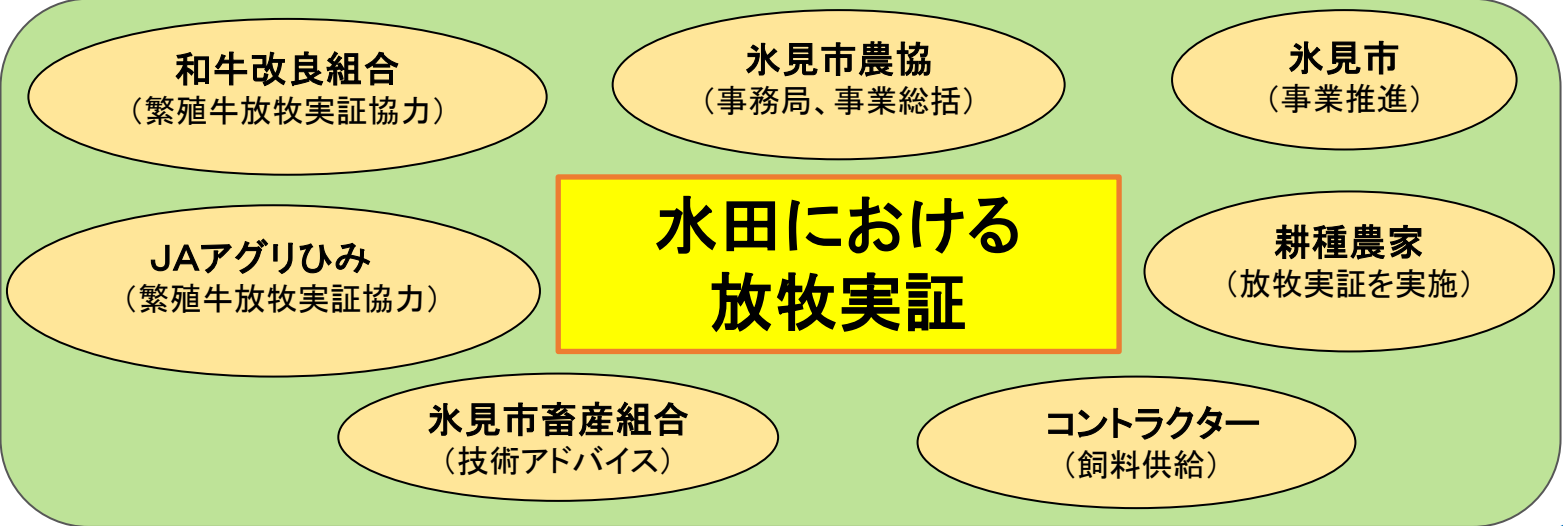
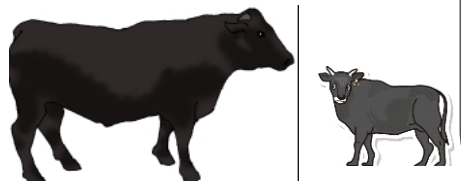
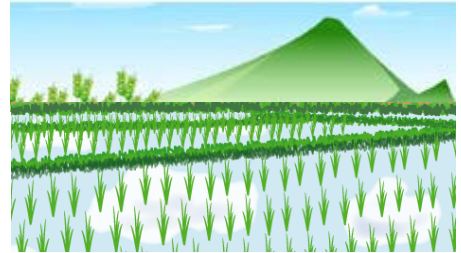


氷見市耕畜連携農業推進協議会

水田放牧を推進し、繁殖牛の増頭による優良素牛生産の拡大と飼料費の低減により畜産収益力向上を実現するとともに、水田の耕作放棄地化を防止



実証内容

- 水田等の生産基盤の維持が困難な地区において放牧を実施し、飼養管理のコスト低減効果、水田の耕作放棄地防止効果について実証
この結果を踏まえ、放牧マニュアルを作成し、市内に水田の放牧利用を普及拡大
- 地域転作対応(省力管理・獣害対策)

効果

- ①生産量の増大
繁殖牛の増頭による地域内素牛生産頭数の増加
- ②飼料コストの低減
放牧による飼料費のコスト低減
- ③耕種農家の効果
耕作放棄地になる恐れのある水田の生産基盤の維持

地域全体で21百万円の収益増

- ①素牛生産頭数の増加1,680万円
(50頭×12/14(分娩間隔))×40万円/頭
- ②飼料コストの低減432万円
粗飼料購入費8kg/頭×60円/kg×6ヶ月×50頭